

高崎移住計画

2015 in TOKYO

～居・職・住から考えるTAKASAKIという選択～



MIGRATION DESIGN

2015 in TOKYO

Program

2015.9.12 **sat** 入場無料 定員250名
13:30～16:30 (開場13:00、途中休憩有)

パソナグループ本部ビル 8階ホール

JR東京駅 日本橋口徒歩2分
(東京都千代田区大手町2-6-4)

チェックイン(参加者&高崎市民のグループディスカッション)

キーノート 「東京」から見る「出身地」

ゲストスピーカー:日本財団CANPANプロジェクト代表 山田泰久氏

クロストーク

コーディネーター:泉 純平(広域政策探究委員会委員長)

「居・住」の部 進化する宿場町——IJU者が語る高崎のまち、ひと、コミュニティ

- スピーカー:①阿部剛志氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))
 ②金丸美樹氏(森永製菓(株))
 ③近藤 亮氏(株パソナ)
 ④田中清明氏(高崎市企画調整課)

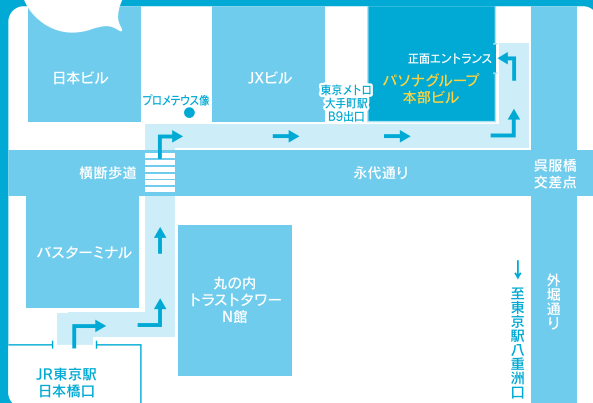
コメンテーター:山田堂雄氏(山一不動産(株))

「職」の部 就職、起業からテレワークまで——商都高崎 未来の働き方

- スピーカー:①加藤 尚氏(ジョブカフェぐんま)
 ②新井信之氏(株ピッチ)
 ③結城奈津美氏(ままえーる)
 ④都丸一昭氏(タカサキチ)

チェックアウト(参加者&高崎市民のグループディスカッション)

Map



東京都千代田区大手町2-6-4 パソナグループ本部ビル8階ホール
JR東京駅 日本橋口徒歩2分/東京メトロ 大手町駅B9出口隣

主催

公益社団法人高崎青年会議所

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町2-7-8高崎商工会議所ビル405

Tel.027-361-7604 Fax.027-362-9578

E-mail▶info@takasaki-jc.com HP▶http://www.takasaki-jc.com/

後援

内閣府、総務省、群馬県、高崎市、群馬県育英会、高崎商工会議所、群馬テレビ、上毛新聞社、FM GUNMA、ラジオ高崎、東京新聞
ふるさと回帰支援センター、移住・交流推進機構、日本財団CANPANプロジェクト、パソナグループ

高崎移住計画2015 in TOKYO

～居・職・住から考えるTAKASAKIという選択～

◆ キーノート/ゲストスピーカー



山田泰久 (やまだ やすひさ)

1973年高崎市生まれ。群馬県立高崎高等学校、慶應義塾大学文学部卒業。NPO法人CANPANセンター代表理事。大学卒業後、財団法人日本船舶振興会(現公益財団法人日本財団)に入会。2014年、NPO法人CANPANセンターに転籍。日本財団CANPANプロジェクトとして、2013年より毎年、地方出身者が東京から出身地を考えるイベント『出身地Day』を開催。個人としても、2012年にいわゆる「ネオ県人会」と呼ばれる『群馬県民の日 In Tokyo』実行委員会』を立ち上げ、毎年10月、東京から群馬県民の日を祝うイベント『群馬県民の日 In Tokyo』を主宰している。

◆ クロストーク「居&住」の部/スピーカー



阿部剛志 (あべ たかし)

1977年生まれ。前橋市(旧粕川村)出身。群馬県立中央高等学校卒業、明治大学大学院建築学専攻修了。三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員。2012年、都内での2児の子育てに限界を感じ、高校卒業以来17年ぶりに東京からUターン。祖父母が建てた築83年の養蚕古民家を改修し、妻・3児との田舎暮らしを満喫しつつ、新幹線通勤で都内勤務を継続中。



金丸美樹 (かなまる みき)

1976年京都市生まれ。慶應義塾大学環境情報学部(SFC)卒業。森永製菓(株)新領域創造事業部チームマネージャー。1年間の育児休暇を夫の地元・新潟市で過ごす、仕事復帰に際し訪れた高崎市の適度な都会感と人の温かさに心を動かされ移住を決断。2009年春、夫の職場(新潟)と自身の職場(東京)の中間地である高崎に母子で移住、以降、新幹線通勤に。



近藤 亮 (こんどう りょう)

1976年横浜市生まれ。日本大学法学部卒業。(株)パソナ高崎支店支店長。社内結婚後、妻の育児休業中に高崎支店に赴任となり東京から家族で転居。東京本社に復職し新幹線通勤と育児を両立させている妻の姿、本業や社外活動の幅の広がり、娘の通う保育園の運営方針、高崎の暮らしやすさ等に心を動かされ、現在、高崎での自宅購入を真剣に検討している。



田中清明 (たなか せいめい)

1977年生まれ。長野市出身。高崎市企画調整課主任主事。高崎経済大学地域政策学部卒業(第1期生)、同大学院地域政策研究科都市地理学専攻修了。その後、東京の自治体コンサルタント会社に就職するが、一過性のコンサルではなく同じまちに多方面から関わりたくなり高崎市に戻る。2004年、高崎市役所入庁。第一子の誕生を契機に、今年、高崎に自宅を購入。

◆ クロストーク「職」の部/スピーカー



加藤 尚 (かとう ひさし)

1965年渋川市生まれ。高崎市在住。國學院大学文学部卒業。ジョブカフェぐんま(群馬県若者就職支援センター)統括責任者。(株)ワークエントリー代表取締役。同社の事業として、2004年よりジョブカフェぐんまを運営。県外から群馬に就職することを「Gターン」と名付け、今年4月より東京・銀座「ぐんまちゃん家」にて「Gターン☆カフェ」等を開催している。



新井信之 (あらいの のぶゆき)

1961年桐生市生まれ。高崎市在住。(株)ピッチ代表取締役。NTT・NTTドコモに約30年間在籍し、東京・長野を含め11回の転勤により新幹線通勤も経験。その後、自身の夢であったスポーツに関わる仕事がしたい、子どもと接する時間を増やしていきたいとの理由で48歳で早期退職。2009年夏、高崎駅西口至近に高崎初の本格的スポーツバー「Pitch」を開業。



結城奈津美 (ゆうき なつみ)

1975年甘楽町生まれ。高崎市在住。青山学院女子短期大学卒業。『ままえる』編集長。東京で3年間働いた後Uターンし、パブリッシュ出版(株)に入社。1年間の産休・育休時、地域に特化した子育て情報が乏しいことに気づかされ、復職後の2011年、編集部を現役のママたちで構成し、ママ目線の旬な情報を発信する地域の子育て情報誌『ままえる』を刊行。



都丸一昭 (とまる かずあき)

1980年小諸市生まれ。沼田市在住。慶應義塾大学環境情報学部(SFC)卒業。(一社)マプロぐんま代表理事。大学卒業後に起業し、東京と沼田市の二拠点居住をしながら、群馬を中心に子育てしやすい地域づくりに取り組む。今年、高崎駅東口至近に空き家を改修した子育てサロン「タカサキチ」を開業、地方のテレワーク導入モデルの拠点として稼働させている。

高崎移住計画
特設サイト

高崎市への移住に関する情報が満載!
<http://www.takasaki-iju.com>

高崎移住計画

検索



高崎移住計画
Facebook
ページ

「いいね!」を押して情報を共有しよう!

高崎移住計画 FB

検索

事前申込書

● 下記に必要事項を記入し事前にお申込みいただきますと、当日のお席を確保いたします。
※お申込みがなくても定員を超えない限りご入場いただけます。

お名前	お住まいの 地域	都 道 府 県	市 区 町 村
お電話番号	ご年齢	歳	

お申込み
はこちら

Fax. 027-362-9578
E-mail ▶ info@takasaki-jc.com

<http://www.takasaki-jc.com/>

or

高崎青年会議所

検索

公開事業 事前申込み

